

豊臣軍二万人

忍城軍五百人

激突!

天下人に仕える知持
いしだみつなり
[石田三成]
(上地雄輔)

愛すべき“のぼう様”
なりたながちか
[成田長親]
(野村萬齋)



400年前の日本を生きた人たちは、こんなにも面白い!
痛快なキャラクターを演じる、野村萬齋ら日本を代表する豪華キャスト

野村萬齋
榮倉奈々 成宮寛貴 山口智充・上地雄輔 山田孝之 平岳大
西村雅彦 平泉成 夏八木勲 中原丈雄 鈴木保奈美・前田吟 中尾明慶 尾野真千子 芦田愛菜
ピエール瀧 和田聡宏 ちすん 米原幸佑 中村靖日 / 市村正親
佐藤浩市

監督:犬童一心 樋口真嗣 脚本:和田竜 小学館「のぼうの城」音楽:上野耕路
主題歌:エレファントカシマシ「スレてる方がいい」(ユニバーサル シグマ)
製作統括:徳岡一朗 エグゼクティブ・プロデューサー:濱名一哉、豊島雅博 プロデューサー:久保田修
共同プロデューサー:田中美幸、井手剛子、辻本珠子 プロダクションスーパーバイザー:永井正夫 セカンドユニット/特撮監督:尾上克郎
ライン・プロデューサー:桜井勉 撮影:清久壽延、江原祥二 照明:杉本崇 美術監督:織田典史 美術:近藤成之
サウンドデザイン/録音:志満剛一 編集:上野聡一 VFXプロデューサー:大塚哲男 VFXスーパーバイザー:佐藤敏紀、ツジミナミ
助監督:足立公良 音楽プロデューサー:桑田真澄
製作:「のぼうの城」フィルムパートナーズ 制作:C&Iエンタテインメント、アスミック・エース エンタテインメント 配給:東宝、アスミック・エース 助成:文化芸術振興補助金 ©2011「のぼうの城」フィルムパートナーズ



小学館文庫「のぼうの城」
絶賛発売中!



NOBOU-MOVIE.JP



T・ジョイ大泉
24時間音声案内:03-5933-0147
http://www.t-joy.net

11.2 [金]
大逆転実話・公開!

豊臣軍にケンカを売った、でくのぼうがいた。



この男の奇策、
とんでもないッ!

のぼうの城

野村萬齋
榮倉奈々 成宮寛貴 山口智充・上地雄輔 山田孝之 平岳大
西村雅彦 平泉成 夏八木勲 中原丈雄 鈴木保奈美・前田吟 中尾明慶 尾野真千子 芦田愛菜 / 市村正親
佐藤浩市
監督:犬童一心 樋口真嗣 脚本:和田竜 小学館「のぼうの城」音楽:上野耕路 主題歌:エレファントカシマシ「スレてる方がいい」(ユニバーサル シグマ)

大ベストセラー映画化

11/2 [金]

大逆転実話・公開!

©2011「のぼうの城」フィルムパートナーズ

圧倒的戦力差! 20,000 VS 500。

強くないが、“人気”だけはある男が立ち上がる時、仲間たちの

の想いが溢れ出す。

天才か? ただの

“でくのぼう”か? 笑う!?

“のぼう様”

の突飛な奇策に、敵も味方も驚き...

笑う!?



130万部突破の大ベストセラー、映画化!
犬童一心(『ゼロの焦点』)×樋口真嗣(『日本沈没』)異例のダブル監督が放つ、
興奮と感動のスペクタクル・エンタテインメント超大作!

その圧倒的なスケールゆえ、映画化実現まで8年の時間を要した史上最大級の戦国エンタテインメント超大作『のぼうの城』。この戦乱に埋もれた驚きの実話が、遂に解禁! 脚本は、脚本家の登竜門と言われる城戸賞を03年に受賞した和田竜のオリジナル。その脚本をもとに自身が書き下ろした小説は、08年第139回直木賞にノミネート、09年本屋大賞2位を受賞。歴史小説ファンに加え、若年層・女性層の幅広い支持を集め、累計130万部を突破し、部数を

伸ばし続ける大ベストセラー。日本映画の歴史を塗り替える壮大なスケールで描かれる大規模な合戦や、圧倒的勢力の豊臣軍が田舎城を相手に仕掛ける驚天動地の“水攻め”戦術、そして両軍の愛すべきキャラクターたちが織りなす濃密な人間ドラマなど見所の満載の本作の映画化に挑むのは、日本を代表する犬童一心×樋口真嗣の二大監督。この奇跡のタッグで、誰も見たことのない、興奮と感動のスペクタクル・エンタテインメント超大作を生み出した!

「この城、敵に回したが間違いか」
 天下統一目前の秀吉が唯一、落とせなかった城があった。
 驚天動地の戦いが今、始まる!

天下統一目前の豊臣秀吉は唯一残された敵、北条勢を圧倒的軍勢で攻めようとしていた。周囲を湖で囲まれ「浮き城」の異名をもち、人々が平穏に暮らす「忍城」もその一つ。そんな中、忍城では、その不思議な人柄から農民たちから“のぼう様(でくのぼうの意)”と呼ばれる、成田長親が城を治める事に。長親に密かに想いを寄せる城主の娘・甲斐姫。長親の幼馴染で、戦に強く「漆黒の魔人」と恐れられる丹波。その丹波をライバル視する豪傑・豪腕の和泉。戦の経験は無いが「軍略の天才」を自称する若侍、靱負。

迫りくる天下軍に緊迫する仲間たちを前に、長親は「北条にも、豊臣にもつかず、皆で今までと同じように暮らせないかなあ〜」と呑気なことを言って皆を啞然とさせる。武将として名を上げる事に闘志を燃やす石田三成は、秀吉より預かった2万の兵を進め、忍城に迫る。やむなく降伏することを覚悟する忍城軍。しかし多勢に無勢、と三成軍のなめきつた態度に、長親が思いもよらない言葉を発する。「戦います」そして、誰の目にも絶対不利な、たった500人の軍勢対2万の大軍の戦いの火ぶたが切って落とされた…!

